

# 安全作業手順書【雪氷・人力排雪作業】

見直し基準とした危険性の評価			
重大性(B) 可能性(A)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
○ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)
△たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)
×かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見直し	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし <small>(補正を要する)</small>
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC～春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛鳥北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具 ・車両	スコップ、ホウキ、塵取り、てみ、ダンプ車	保護具	ゴム手袋、軍手、保護マスク、安全ぐつ、安全チョッキ(自発光)、安全長ぐつ、ヘルメット

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ)			リスクの再見積り		
			(~なので~になる)			(A)	(B)	リスク	(私達はこうする)			(A)	(B)	リスク

準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 使用機械、工具等の点検を行う しらすだーの動作確認を行う 作業域後方に防護車両を配置する 路面状況を雪氷本部へ連絡する	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 作業前に 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする 移動規制に合わせて 積雪深さ・雪の状況(圧雪・シャーベット・ふんわり等)	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう / 作業中に機械が故障し、思わぬケガをする 電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる / /	△ ○ / △ △ / /	× × / × × / /	4 3 / 4 4 / /	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する / 作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う 毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する / /	○ ○ / ○ ○ / /	○ △ / ○ ○ / /	1 2 / 1 1 / /
	車両確認										
	作業車両準備										
	作業車両点検										



25.車両回送手順書に則る

本作業	出発準備										
	規制内進入										
	車両移動										
	停止										
	逸走防止										
	使用機器等 準備	車両から必要機材を降ろす  上流監視員の配置を確認する	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして  規制班と調整して	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする  後方の走行車両に気づかず追突・接触される	△ △ △	△ △ ×	3 4	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から 車両に正対して昇降する。飛び降りない。  作業時は必ず一人監視員を配置し 周囲に注意して作業を行う	○ △ △	△ ○	2 2

堆雪除去	路面上に堆積した雪等をスコップで除去する	路面の勾配等に注意して 積載量に注意して	撤去作業中、勢いあまって雪が走行車両に飛散する 作業員同士が接触しケガをする	△ △	△ △	3 3	スコップ等、撤去時は慎重に作業に臨む 周囲に十分注意して、離隔を確保して作業を行う	○ ○	○ ○	1 1
	除去した雪をダンプ等に積込む									
	仕上げ (はき掃除)	ホウキ及びてみ等で除去する 必要に応じて凍結防止剤等を散布する	排水溝の周りも同様に 路面の勾配等に注意して均等に散布する	/	/	/	/	/	/	/
	片付け (離脱準備)	車両に使用機器・道具等を横込む 場内の確認をする	運転者は飛散防止シートをかけ 忘れ物等が無いか再度確認し	シートを荷台にかけず、 回送中に荷台の荷物が飛散・落下してしまう 出発前に確認を怠り、忘れ物等に気づかず離脱し 走行車両に接触する	△ △	△ △	3 3	シート及びネットを必ず使用して 飛散防止の養生を行う 現場監督者を含め二人以上で必ず 場内の確認をしてから離脱する	○ ○	△ △

25.車両回送手順書に則る

25.車両回送手順書に則る

現場離脱 及び										
帰着										
駐車										
後処理	排雪場所へ雪を降ろす 運転日報・車両使用日報を作成する	雪以外のものは分別して 責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/

特記事項 1人作業 原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。